

とこらぼ

NAGAOYA

今号の内容

- P2 **とびっく** 精神科病院に入院している人の人権保障について
- P3 名古屋市ひきこもり地域支援センター／ひきこもり講演会、開催しました
- P4 令和7年度依存症講演会を行いました
- 令和7年度アディクション・セッションを開催しました
- P5 令和7年度「こころの健康フェスタなごや」を開催します
- P6 名古屋市精神保健福祉センターこころぼの特定相談／掲載作品募集

みなみせいきょう よこぢょう かぜ さくひん
南生協よってって横丁メンタルクリニック デイケアみなみ風メンバーの作品



精神科病院に入院している人の人権保障について

令和4年の法改正により精神科病院に入院している人の人権保障にも新たな仕組みができています。従前からの仕組みと合わせて現時点で整えられている主な仕組みを簡単にご紹介します。

●人権を保障する仕組み

国際連合は、1948年に世界人権宣言を作りました。その内容に法的拘束力を持たせるために国際人権規約が作られ、障害のある人の人権を保障するために障害者の権利に関する条約が作られました。これらの条約に日本は批准しています。精神科病院で医療を受けている人にも、これらの規約や条約で規定されている人権を保障する仕組みは、日本では主に精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下「精神保健福祉法」といいます。）により作られています。

●精神保健福祉法における人権を保障する仕組み

国際人権規約は、自由の制限は法律で定める理由や手続きによることや、自由を制限されたときはその適否を審査することを定めています。日本の精神科病院での入院もこれに対応しています。

・入院の要件、手続き、告知等の規定

精神科病院への入院は、自由が制限されることがありますので精神保健福祉法で入院の要件や手続きが定められています。入院時には入院する人の入院の形態、理由、退院等の請求について書面で伝えることになっています。行動等の制限も精神保健福祉法に基づいて定められた要件や手順に沿って行われます。

・第三者機関による審査

精神科病院は入院者の意思によらない入院を行ったときは書面で行政に報告します。行政自身が行う措置入院の報告書類とともに、第三者機関としての精神医療審査会で審査されます。

また、精神科病院に入院している人は、その入院や処遇に納得できないときは行政に対して退院や処遇の改善を請求できます。その請求も精神医療審査会で審査されます。

精神医療審査会は、書面で報告された入院の要否や、請求された入院の要否や処遇の適否について審査します。必要があれば病院へ赴き請求者や病院職員等から意見聴取等を行います。

精神科病院に入院している人は、退院等の請求をできるような人権を擁護する行政機関や行政の精神保健の主管課や代理人の弁護士との通信や面会は制限されません。

●入院や処遇等の状況のチェック

行政は精神科病院における入院や処遇が適切か立入調査や入院者の診察などをしてチェックをしています。

●令和4年の法改正で整えられた仕組み

・虐待防止の取組み

精神科病院では入院や処遇を適切に行うほか、自院で医療を受けている精神障害者に対する職員による虐待防止にも取り組んでいます。

行政は入院や処遇と同様に、この取組みもチェックしています。さらに窓口を開き、虐待を受けたと思われる精神障害者を知った人からの通報等に対応し、必要な調査を行っています。

・入院者の立場に立って話を聴く人の派遣

精神科病院は、入院している人の相談に応じます。自身の意思によらない入院をしている人には退院後生活環境相談員という担当者も選任し、地域援助事業者も紹介します。行政も精神保健福祉相談員が相談に応じています。このような医療や行政や家族でなく、入院している人の立場に立って、その人の話を丁寧に聞き、生活相談にのり、情報提供する入院者訪問支援員が派遣される仕組みができています。

名古屋市ひきこもり地域支援センター

名古屋市には、現在2か所のひきこもり地域支援センターがあります。名古屋市内在住のひきこもり状態にあるご本人とご家族、支援者等を対象に、来所相談やひきこもり本人の居場所活動などを行っています。ご相談の予約や各センターの取組みなどについては、各センターへお問合せください。

ご相談の流れ ~お気軽にお問合せください~

かなやま
金山ではLINE相談も
おこな
行っています。



① 電話で予約

- ・ひきこもり地域支援センター
- ・ひきこもり地域支援センター-金山

お悩みごと、ご相談ごとをお聞きして、面談日時のご予約をお取りします。

② 初回面談

センターに来ていただき、詳しくお話をお聞きします。

③ 面談結果

- ・継続相談
- ・家族のつどい
- ・ひきこもり当事者の居場所
- ・他機関の案内、同行支援など

各施設のホームページもご覧ください

・ひきこもり地域支援センター
電話：052-483-2077



・ひきこもり地域支援センター-金山
電話：052-228-3406



「ひきこもり講演会、開催しました」

「ヒキコモリナマノコエ～声から繋がるひきこもりの輪～」



9月20日(土) 雨の降る中、87名の方が講演会に参加されました。当日は3人の講師にそれぞれの立場からお話いただきました。

- ・高井さん(大阪経済大学教授)「オンライン居場所の話」
- ・日下さん(みえオレンジの会(家族会))「親の経験談」
- ・中谷さん(自助会さなぎと代表)「ひきこもりの経験談」

講演会の様子はYouTubeで令和8年9月30日まで配信しています。

参加者の声

「心に深く響きました」「色々な立場の人の話が聞けてよかった」
「本人も家族も傷つき、悩んでいると知った」



講演会の視聴はこちらから▶



令和7年度依存症講演会を行いました

当センターでは、例年名古屋市民を対象に、依存症への理解を深めていただくことを目的として、依存症講演会を開催しています。

今年度は11月26日(水)14時20分から、中区役所ホールにて講師に俳優の高知東生さんをお招きし、「生き直す～依存症からの回復で学んだこと～」をテーマにご講演いただきました。

芸能界で活躍していた高知さんが薬物依存症になってしまった経緯やそこから回復していく過程、そして現在精力的に取り組まれている依存症の啓発活動に対する思いなどをお話いただき、依存症は誰でもなる可能性がある身近な問題で、回復することができるというメッセージを届けていただきました。ご講演いただいた内容は、YouTubeの「名古屋市精神保健福祉センターこころばチャンネル」で配信しております。ぜひご覧いただき「依存症」への理解を深めていただければ幸いです。



 **YouTube**
 講演会の視聴は
 こちらから▶



令和7年度アディクション・セッションを開催しました



令和7年10月25日(土)にアディクション・セッション「回復のストーリー～当事者・支援者・家族の声～」を中区役所ホールで開催しました。約150名の方にご参加いただきました。ホールでは依存症の当事者・家族・支援機関などの20団体から体験談などをご発表いただき、依存症に苦しむ方や支援者に向けて心に響くメッセージを届けていただきました。さらに、ホワイエにおいて21団体からの資料配布や参加者同士での活発な交流も行いました。準備や会場運営においても、参加団体の方にもご協力をいただき、横のつながりを作ることができる機会となっております。

令和8年度も実施を計画しています。身近な「アディクション」について考える機会となりますので、ぜひご参加ください。

ひとりでお悩まず
 相談してみませんか

依存症相談窓口 / 電話: 052-483-3022

薬物に頼らず
 生活したい…

名古屋市精神保健福祉センターこころば (月～金、祝日年末年始を除く、8:45～17:15)

名古屋市在住、在勤、在学の方で、アルコール・薬物・ギャンブル等で

お困りのご本人やご家族の相談窓口です。

まさかうちの子が薬物を使っていたなんて…

もうギャンブルはしないって決めたのに…家族の信用を取り戻したい。

本人が、毎日のように昼間から飲んでいる…

令和7年度「こころの健康フェスタなごや」を開催します

「こころの健康フェスタなごや」は、名古屋市の自殺対策事業の一環として開催するイベントです。
令和8年3月21日（土）、オアシス21にて開催します。

今回のイベントでは、SNSやメディアで人気の精神科医 Tomy 先生と、元 SKE48 メンバーで表現力豊かな歌唱力で魅せる野島樺乃さんによる「こころ」について考えるトークショーを行います。さらに、名古屋市いのちの啓発ソング「Dear my」を使ったライブステージなど、気軽に参加していただけるプログラムもお楽しみいただけます。

会場には、パン販売（わっぱん）、お花の販売（Sissi Flower Design）、肩もみニケーション体験、こころの絆創膏マンガコンテスト受賞作品の展示など、多彩なコンテンツを設けました。

出展ブースでは、名古屋市精神保健福祉センターによる依存症相談案内、ひきこもり地域支援センターによる相談案内や、メタバース体験などもご用意しています。

このイベントで、ご自身や身近な方のこころの健康について考えるきっかけを見つけてみませんか？

お子さまから大人まで楽しめる内容となっていますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



名古屋市公式ウェブサイト

名古屋市精神保健福祉センター こころの健康フェスタなごや案内ページ
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000160635.html>



南生協よってって横丁メンタルクリニック デイケアみなみ風メンバーの作品



名古屋市精神保健福祉センターこころぼの特定相談

思春期の精神保健相談

思春期に起こりがちな心の問題に関する相談を受付けます。

依存症相談

依存症からの回復のために、本人、家族を対象に相談をおこなっています。

自死遺族相談

大切な人を自死で亡くされた方からの相談を受付けます。

特定相談は予約制で、外部の専門家と職員でお話を伺います。



掲載作品募集

デイケア等で作成した作品をこころぼ NAGOYA に載せてみませんか？
前号に引き続き、こころぼ NAGOYA に掲載する作品を募集します！

- 対象団体：精神保健に関する課題のある方や精神障害がある方に関する団体
- 作品数：1 団体 5 作品程度まで
- 選考方法：先着順 2 団体 ※選ばれた団体には後日ご連絡します。
- 締切：令和 8 年 4 月 30 日 (木)
- 申込方法：右の QR コードまたは <https://logoform.jp/f/Q341h>

申し込み
申込



名古屋市精神保健福祉センターこころぼ Nagoya City Mental health & Welfare Center KOKORABO

精神保健福祉相談

思春期精神保健相談、依存症相談、自死遺族相談等の精神保健福祉相談を行っています。

調査研究 企画立案

調査研究・情報収集し、本市域に必要な精神保健福祉の事業や施策の企画立案をします。

技術支援 人材育成

関係機関の職員等に、精神保健福祉に関する専門的な技術支援や研修を行っています。

精神医療審査会の事務

精神科病院での入院の要否や処遇の適否を審査する精神医療審査会の事務局をしています。

普及啓発

心の健康や精神障害に関する正しい知識の普及を図るために、講演会の開催等を行っています。

精神障害者保健福祉手帳の判定等

精神障害者保健福祉手帳の交付等の判定、自立支援医療（精神通院医療）支給の認定を行います。

関係団体等の育成支援

精神障害者家族会や精神保健福祉に関するボランティア団体等の活動を支援します。

ひきこもり地域支援センター

ひきこもりの本人や家族等の相談のほか、居場所や教室、支援者向けセミナー等を行います。

名古屋市精神保健福祉センター通信 こころぼ NAGOYA 38号

発行：名古屋市

編集：名古屋市精神保健福祉センターこころぼ

発行日：令和 8 年 3 月 1 日

発行部数：2,600部

〒453-0024 名古屋市中村区名楽町4-7-18

電話：052-483-2095 ファクス：052-483-2029

テキスト版 URL：<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/shougaisha/1016579/1016586/1016591/1042671.html>

